

第55回 日教組養護教員部研究集会



7月25日（土）～27日（月）の3日間、新潟県越後湯沢にて、第55回日教組養護教員部研究集会が開催されました。今年



も全国から約500人もの養護教員が集まり、福井県からは養護教員6名が参加しました。

1日目の日教組養護教員部長の原美紀さんから、子ども教育や学校保健をとりまく状況や課

題について報告されました。その後の記念講演

では、NPO法人フリースペースたまり場理事長の西野博之氏が「子どものいのちに寄り添う～学校の中に子どもの居場所をつくるということ～」で、保健室のあり方や養護教員の子どもとの関わり方について講演されました。

2日目の分科会では、各県における実践事例を元に、各県の現状や様々なとりくみについて出し合いながら、話し合われました。

3日目の講座では、学校保健の課題とされる内容

について、具体的なデータをもとに、今後のとりく

みについて話をされました。

現在、学校保健をめぐる状況は、健康診断をはじめ、食物アレルギー疾患等の対応、集団フッ素洗口・塗布、医療的ケア等、様々な課題があります。その課題について、全国の仲間ととりくみや実践について交流し議論する中で、養護教員として何を大事にしなければならないのかを学び確認しあいました。各単組と情報交換を行うことができ、たいへん有意義な研究集会となりました。



日教組養護教員部長
原美紀さん

